

はくび通信

Okinawa Prefectural Museum & Art Museum News Letter

vol.05

秋号

ありがとう10周年
沖縄の宝を未来へ



10th
ANNIVERSARY

おかげさまで10周年。これからも沖縄の宝を未来へ

沖縄県立博物館・美術館は2007年11月1日ここ那覇市おもろまちに開館して以来、おかげさまで今年10周年を迎えます。これを記念して、博物館、美術館ともに「海」をテーマに展覧会を行います。沖縄は海に囲まれた地域性や歴史の中で豊かな文化を創造してきました。是非多くの皆様に足を運んでいただき、自然や歴史、文化、美術など様々な視点から海と沖縄との関わりについて理解を深める機会としていただきたいと思います。

沖縄県立博物館・美術館 館長 田名 真之



海 の 沖 縄

開かれた海への挑戦

開館10周年記念特別展

沖縄県立博物館・美術館が開館して10周年を記念し、これからの10年へ向けた博物館のチャレンジ精神の表れとして「海」を題材にした特別展を開催します。地学・生物・人類・考古・歴史・民俗・美術工芸・教育普及8分野の力を合せて、海にまつわる6つのテーマを設定して、各分野を越えた展示を展開します。「海」という切り口から新たな沖縄の姿が浮かび上がる、意外性にあふれた展示会を企画しております。



世持橋勾欄羽目

11/1(水) - 1/14(日) 2018

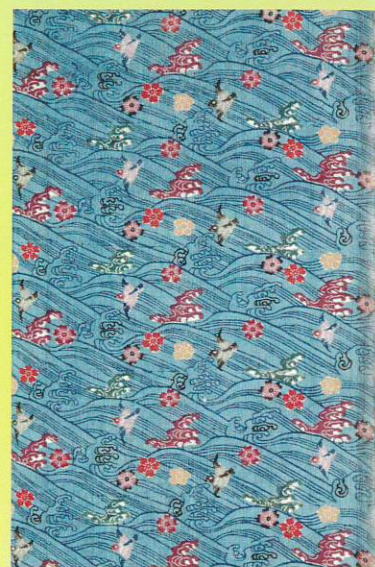
博物館 企画展示室・特別展示室

一般 1,000(800)円、高校・大学生 600(480)円、小・中学生 300(240)円

※本展観覧券で「博物館常設展」もご覧になれます



石厨子



木綿浅地波に桜千鳥模様衣裳



線彫染付魚文皿



イロブダイ



黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付



サバニの1/5模型

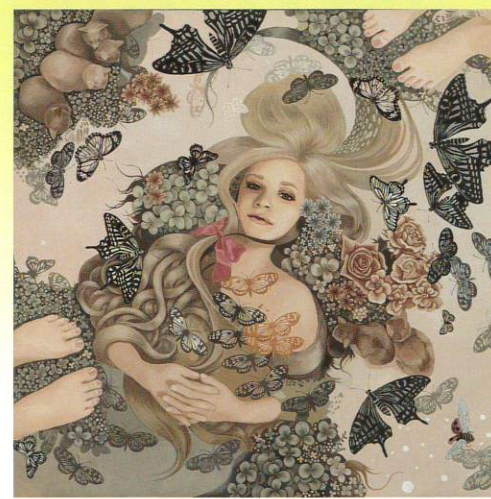
【学芸員メッセージ】

沖縄と海との関係は太古の昔から切っても切れないと言えます。ときに豊かな恵みをもたらしたり、ときに新たな文化を運んできたり、ときに人々が恐れるような災いをもたらしたりと、海には様々な顔があります。今回はこのような沖縄の海を総合的に捉えることを試みた、意欲的な展示会となっています。

(博物館学芸員 山本正昭)

開館10周年記念展

美術館では開館10周年を記念して、2つの展覧会を開催します。「彷徨の海」展では南風原朝光が描いた未発表の絵画40点を含む30数名による約120点の絵画や彫刻がコレクションギャラリーに会し、第二次世界大戦前の台展(府展)が開催された台湾と沖縄とを舞台に、その歴史的なつながりを辿ります。続く「邂逅の海」展では、20数名のアジア・沖縄のアーティストによる作品が並び、海を越えた交流を創出します。



山城えりか《vortex》2007-2011年

美術館企画ギャラリー

一般 1,000(800)円、高校・大学生 600(480)円
小・中学生 300(240)円

※本展観覧券で「彷徨の海」もご覧になれます

彷徨の海

旅する画家・南風原朝光と
台湾、沖縄



南風原朝光《風景》1930年

11/1(水) - 2/4(日) 2018

コレクションギャラリー1.2.3

一般 310(250)円、高校・大学生 210(170)円

小・中学生 100(80)円

※本展観覧券で「邂逅の海」もご覧になれます

邂逅の海

— 交差するリアリズム —

12/19(火) - 2/4(日) 2018

【学芸員メッセージ】

沖縄初公開の作品を数多く揃え、沖縄とアジアを結ぶ十周年展が開催できたことを嬉しく思います。当美術館の単独企画ですが、特筆すべきは財団法人陳澄波文化基金会から大切な作品を借用できたこと(「彷徨の海」展)、沖縄と台湾、アジア諸地域の美術を、まとめて鑑賞できる画期的な展覧会(「邂逅の海」)になったことです。

(美術館学芸員 豊見山愛)

こどもフェスタ 体験キットで遊ぼう!

開館10周年の記念催事として、『こどもフェスタ-秋-体験キットで遊ぼう!』を開催します! 当館において開発された体験キットの紹介のほか、海を題材にしたワークショップ、他館の体験キットなどを紹介します。

10月21日(土)

10:00
~17:00 22日(日)

沖縄県立博物館・美術館 1Fロビー、
ふれあい体験室、博物館実習室にて

おきなわアート遊具① 『おかしぐるみ』

サターアングギー

塩せんべい



のまんじゅう

ちんすこう

あれっ〜、どこかで見たことあるよ!
おかしのくにへようこそ。沖縄のおかしを
モチーフにしたオリジナルのぬいぐるみで
す。色やさわり心地を楽しんだり、並べたり、
積み上げたり、想像をふくらませ
ながら遊べます。

おきなわアート遊具② 『たてよこぶろっく』



うちま あんせい
内間安理 《Forest Byobu (SCREEN) B》
Ansei Uchima "Forest Byobu (SCREEN) B" 1978

四角いブロックを積み上げて、どんな絵や
形ができるかな? 美術館所蔵作品をプリント
したキューブ型のブロックです。絵がらを探して
組み立てたり、ちがう作品どうしを組み合わせ
たり、自由に発想して楽しんで下さい。



さわったり、並べたり、組み合わせたり、いろいろ工夫して
遊びながら、子どもたちの発想力を高めることや沖縄の
美術品について親しんでもらうことをねらいに、沖縄の
デザイナーと協力してオリジナルのハンズオン遊具を全部で

11種類つくりました。安全
に、楽しく、仲良く、
たくさんの子ど
もたちに遊んでもら
いたいです。

美術館学芸員
島筒 格



いなみ せいそ
稲嶺成祐 《太陽のある家族》
Seiso Inamine "Family And The Sun" 1998



ふれあい体験室

「ふれあい体験室」はエントランスに面した無料
ゾーンにあり、誰でも自由に入ることができるお
部屋です。ここには沖縄の「自然のしくみ」や
「先人の知恵」をテーマに、来館者が見て・聞いて・
触って学ぶことのできる37種類の体験キットが
あります。グスクの石積み技術が学べる「石で築く」
やサンゴ礁に住む生き物たちについて知る「イ
ノ」などどれもイチオシのキットばかりです。ぜひ
手に取って遊んでみて下さいね。(一般財団法人沖縄美ら島財団 教育普及担当 比嘉麻乃)



体験キット紹介① 『化石組み立て体験』

当館でも大人気の体験
キットです!
難易度はやや高いですが
完成できれば
これで君も将来の
人類学者候補?



かせきく た たいけん
化石組み立て体験



体験キット紹介② 『三線のかたち』

6月に行われた熊本のイベ
ントで大人気でした!
「三線」について、色んなかたちの
ちがいや、歴史などを知ること
ができます。もちろん
演奏もOK!



さんしん
三線のかたち



このイベントは、11月1日から
開幕する「海の沖縄」展のプレ
イベントとして開催します!
さわって・おいをかいで・音
をきいて、博物館の展示につ
いてもっと知りたい!と感じて
くれば嬉しいです!
こどもから大人まで、ぜひ体験
にいらして下さい!

博物館
教育普及担当学芸員
大川 剛



こどもから大人まで
楽しめるイベントです!

開館10周年記念イベント

開館10周年を記念したスペシャルなイベントを多数開催予定です!

10周年ありがとうございます!
ございます!

開館10周年記念式典 無料

- 11/1 水 開館10周年を祝って式典を執り行います。「海の沖縄」「彷徨の海」のオープニングセレモニーのほか、功労者表彰、基調講演、当館の愛称・新キャラクターの発表を行います。
- オープニングセレモニー [時間] 9:30～ [場所] エントランス
 - 「海の沖縄」「彷徨の海」展示解説会 [時間] 10:10～11:10 [場所] 各展示会場 ※当日有効の観覧券が必要
 - 式典・基調講演 [時間] 13:30～(受付13:00～) [場所] 講堂

開館10周年だよ! 秋のArt & Music Festival!

「アートマーケット」「やぎもの市」「たべもの市」「音楽ライブ」などを開催予定!
また博物館常設展、美術館コレクション展が無料でご覧になれます。
博物館・美術館をまるっと1日満喫しよう!

- 11/3 金祝 [時間] 11:00～18:00(館は9:00から20:00まで開館しています)
[場所] 屋外展示場、エントランスホール
19:15からはMONGOL800特別限定ライブあり! ※ただし抽選でペア250組限定



開館10周年記念ミュージアムコンサート「蒼海の響き」 無料

- 11/26 日 [時間] 14:00～14:40(館は9:00から開館しています) [場所] エントランスホール
[出演] 沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻・沖縄文化コース専攻生



[博物館] 開館10周年記念特別展「海の沖縄」関連催事

「海を越えて広がる世界と琉球(沖縄)」 無料

- 11/3 金祝 [時間] 10:00～16:00(開場9:30) [場所] 講堂
[講師] 梶田 忠 氏(琉球大学)
戸田 守 氏(琉球大学)
藤田祐樹 氏(国立科学博物館)
萩尾俊章 氏(沖縄県教育庁)
岡本亜紀 氏(浦添市美術館)
上里隆史 氏(琉球歴史研究家)
当日先着200名

黒島の豊年祭



講演会「物語はこうしてつくれる ～琉球王子の朝鮮漂流殺害事件～」 無料

- 11/18 土 [時間] 14:00～16:00(開場13:30) [場所] 講堂 [講師] 田名真之(当館館長)
当日先着200名

シンポジウム「未来につながる海の利用」 無料

- 12/3 日 [時間] 14:00～16:30(開場13:30) [場所] 講堂
[パネリスト] 菅 浩伸 氏(九州大学) 中西裕見子 氏(大阪府教育委員会) 升間主計 氏(近畿大学)
木川栄一 氏(国立研究開発法人海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター長) 当日先着200名

[博物館] 開館10周年記念特別展「海の沖縄」関連催事

GODAC出張ラボ

「海洋資源を採取せよ! 小型ROV操縦体験」 無料

海底資源にはどんな金属が含まれているのかな?
小型ROVの操縦を体験しながら海底資源について学ぼう!

- 12/9 土 10 日 [時間] 第1部 10:00～12:00 / 第2部 13:00～15:00
[場所] 正面玄関入口横
[講師] GODAC(国際海洋環境情報センター)
当日先着各部30名 開始30分前より会場にて受付



[美術館] 開館10周年記念企画展「彷徨の海」「邂逅の海」関連催事

アーティストトーク 無料

- 11/1 水 [時間] 10:40～11:10 [場所] コレクションギャラリー
※ただしコレクションギャラリー内は当日有効の美術館コレクション展の観覧券が必要

映像アーカイブと沖縄① 特別上映 無料

- 11/4 土 上映作品《執念の毒蛇》(1931年、84分、監督:吉野二郎)(弁士:高宮城実人氏)
《吉屋チルル物語》(1962年、98分、監督:金城哲夫)
[時間] 14:00～(開場13:30) [場所] 講堂 当日先着200名

映像アーカイブと沖縄② 上映・トークショー 無料

- 12/2 土 上映作品《執念の毒蛇》
[登壇] 世良利和 氏(映画研究家) 仲程昌徳 氏(元琉球大学教授) 真喜屋 力 氏(シネマ沖縄プロデューサー)
[時間] 14:00～(開場13:30) [場所] 講堂 当日先着200名

開館10周年記念展の関連催事は1月以降も予定されています。

◎2018年1月13日(土) 映像アーカイブと沖縄③ ◎2018年2月3日(土) 美術館開館10周年展記念シンポジウム
※詳しくは当館HPから展覧会チラシをご覧ください

その他イベント情報

博 博物館のイベント 美 美術館のイベント 指 指定管理者のイベント

10-12月

※日程やタイトルなど変更する場合があります。当館開催場所や参加費などの詳細情報はHP・チラシでお知らせいたします。

美 第3回 ミュージアムツアー 無料

- 11/3 金祝 [時間] 10:30～12:00
[場所] 美術館バックヤード・コレクションギャラリー
[定員] 12名 ※1ヵ月前から来館・電話にて受付開始

博 「海の人類史—南の島々に進出したヒトの海洋適応と島嶼文化」 無料

- 11/11 土 [時間] 14:00～16:00(開場13:30) [場所] 講堂
[講師] 小野林太郎 氏
(東海大学海洋学部海洋文明学科准教授)
当日先着200名

博 シンポジウム「宮古島の人類史を探る(仮)」 無料

- 12/16 土 [時間] 13:00～17:00(開場12:30) [場所] 講堂
[講師] 久貝弥嗣 氏(宮古島市教育委員会) 宮城弘樹 氏(沖縄国際大学)
安斎英介 氏(浦添市教育委員会) 山崎真治 氏(当館学芸員)
当日先着200名

博 常設展展示解説会 無料

美術工芸部門 11/9 木 考古部門 12/7 木

[時間] 14:00～15:00(13:55ふれあい体験室前集合)
[場所] 博物館常設展示室 ※当日有効の博物館常設展の観覧券が必要です

次ページへ続く ▶ 7

博 学芸員講座 無料

美術工芸 11/4(土) 「紅型のはなし—資料と史料から紐解く—」

歴史 12/2(土) 「雲版」が語る尚泰久時代

[時間] 14:00~16:00(開場13:30)
[場所] 博物館講座室 当日先着80名

博 バックヤードツアー 無料

普段は見ることのできない博物館の裏側を学芸員が案内します。

美術工芸部門 10/28(土) 民俗部門 11/25(土) 生物部門 12/23(土)

[時間] 14:00~15:00(13:55ふれあい体験室前集合)
当日先着12名(9:00から総合案内にて受付)

博 常設展示室ボランティア展示解説ガイド

[開催日] 毎週水・金・日曜日
[時間] 14:00~17:30
[場所] 博物館常設展示室
※ただし、当日有効の博物館
常設展の観覧券が必要



指 ふれたい体験室ワークショップ10月、11月 「ジェルキャンドルで小さな海を作ろう!」

[時間] 1回目10:00 2回目10:30 3回目11:00 4回目11:30
※所要時間30分(キャンドルは終了30分後に受け取り)

[開催日] 毎週土曜日 [場所] エントランス

[対象] 5才から大人まで

[参加費] 各回300円

当日先着40名(各回定員10名)

※9:00から全ての回の受付開始

※10月21日(土)、22日(日)の時間は

1回目10:00 2回目11:00

3回目14:00 4回目15:00

となります



これが、ほら、あの、
ろうソクの火をつける時の
あの、そう、あのヒモです^^
貴方だけのオリジナルの灯りが
ここから産まれますよ!

沖縄県立博物館・美術館 Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

[開館時間] 9:00~18:00(金曜日・土曜日は20:00まで)
※入館は閉館30分前まで

[休館日] 月曜日(月曜日が祝日にあたる場合は開館し、翌平日が休館)
※年末年始の休館日: 12/29(金)~1/1(月)

アクセス 駐車場は台数が限られておりますので、
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

[バス] 那覇空港発99番線 おもろまち3丁目バス停下車〈徒歩5分〉
120番線 上之屋バス停下車〈徒歩10分〉
市内線 3.7.10番線 県立博物館前バス停下車
6番線 那覇メインプレイス東口バス停下車〈徒歩5分〉
市外線 バイパス経由 おもろまち駅前バス停下車〈徒歩10分〉
国道58号経由 上之屋バス停下車〈徒歩10分〉
おもろまち行 おもろまち1丁目バス停下車〈徒歩3分〉

[沖縄都市モノレール] ゆいレール おもろまち駅下車〈徒歩10分〉

[ホームページ] <http://www.museums.pref.okinawa.jp>



10th
ANNIVERSARY

編集後記

開館10年目を迎えました。記念すべき秋号の編集を担当できて光栄です。いよいよ県立博物館・美術館が今年度最大の盛り上がりを見せる月がやってきます。スタッフ全員が意気込んでおります! 全学芸員の力を結集して作り上げた展覧会や周年記念祭、そして11月1日には、一般公募によって決まった館の愛称と新キャラクターの発表があります! 次号は『はくび通信』からあらためて愛称を冠した新誌名となりますので楽しみに。より親しまれるミュージアムを目指してがんばります。(きなこ)

はくび通信 vol.05 秋号 季刊誌

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 TEL 098-941-8200 (代表)

[発行日] 2017年10月18日

[編集・発行] 沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団